

## 佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会  
編集発行人 小川 洋起

## 会員各位

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ冬本番の寒さとなってまいりました。体調を崩さずに年の瀬を乗り切っていきましょう！

第23回研究大会のアンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果を掲載しております。

## 第23回佐事研大会アンケート集計結果報告

## 第23回大会アンケート集計表

年代	20代			
回答	県教委講演	改善検討委報告	研究部報告	共同実施PD
大変良かった	2	0	0	4
良かった	5	5	6	4
普通	1	3	2	0
良くなかった	0	0	0	0

年代	30代			
回答	県教委講演	改善検討委報告	研究部報告	共同実施PD
大変良かった	9	0	0	5
良かった	4	7	6	4
普通	2	7	8	5
良くなかった	0	1	1	1

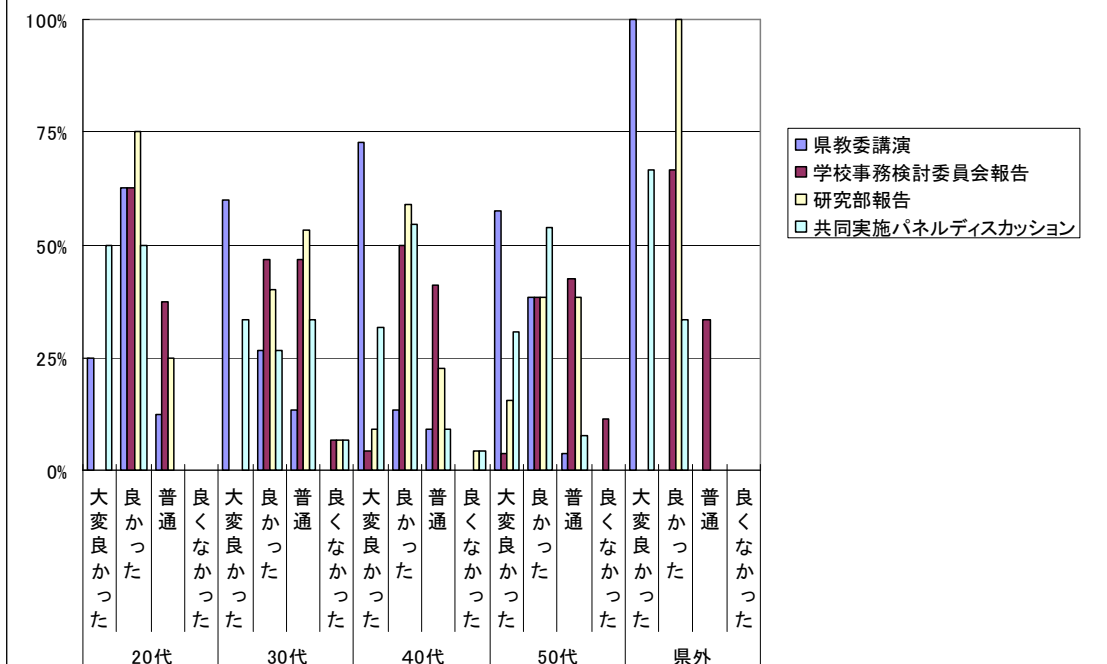
年代	40代			
回答	県教委講演	改善検討委報告	研究部報告	共同実施PD
大変良かった	16	1	2	7
良かった	3	11	13	12
普通	2	9	5	2
良くなかった	0	0	1	1

年代	50代			
回答	県教委講演	改善検討委報告	研究部報告	共同実施PD
大変良かった	15	1	4	8
良かった	10	10	10	14
普通	1	11	10	2
良くなかった	0	3	0	1

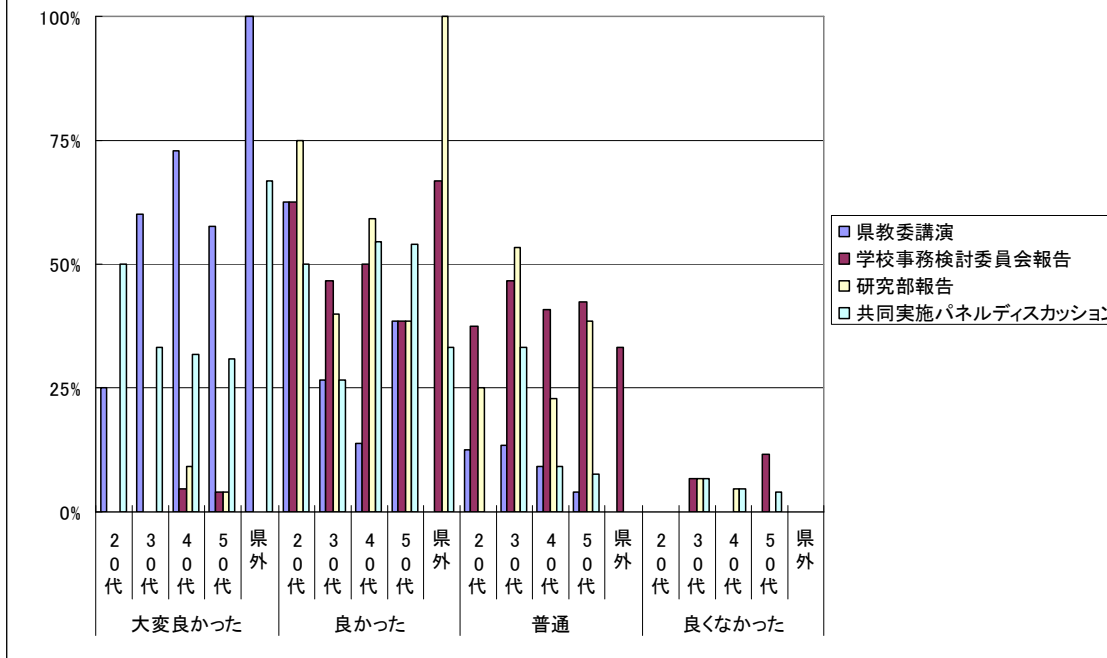
アンケート提出数	78
内数（県内）	75
内数（県外）	3

参加者	238
内数（県内）	216
内数（県外）	22
回収率	32.70%

### 第23回 佐事研大会アンケート結果(年代別)



### 第23回 佐事研大会アンケート結果(回答別)



第23回佐事研大会アンケートよりコメント一覧

アンケート設問3. 県教委講演 講師 佐賀県教育委員会 副教育長 早川 俊章 様

《20代》：なし

《30代》：

- ・ 面白かった。
- ・ 県教育委員会としての率直な所見を聞いてよかった。

《40代》：

- ・ たいへん力強い声援をいただいて、やる気ができました。
- ・ 資料も最新のもので、話しも分かり易かった。
- ・ 県の教育課題や事務改善検討委員としての意見等わかりやすかった。
- ・ 国や県レベルでは結構、理解してもらっているのに、市町村レベルでは全く20年前と変わらない。追い風は県レベルまで……。市町村まではきていない。
- ・ 県教委の施策の追い風の中、変化に適格に対応していくことが大切だと再確認しました。
- ・ わかりやすいお話しで、集中して聞くことができました。佐賀県の教育が大きく変わっていく中にある今、自分達が何をやっていくか、やれるか、見すえていくしかないですね。
- ・ ご自分の経験談なども話して下さり、とても分かりやすかったです。「佐賀県教育の基本方針」の冊子も多忙な年度始めに渡され、目を通さずにいた自分を恥ずかしく思いました。「学校事務の要となる」……。いろんな経過があつて策定されていたことも知りませんでした。(反省)

《50代》：

- ・ 話しがおもしろく、話し上手でした。ドラゴンズを応援しています。
- ・ 変化を知り、変化を味方につける。学校事務職員、学校事務は、まさに変化の中にあると考えます。変化を知らず、変化を味方につけることのできない学校事務、学校事務職員にならぬよう、皆んなで前向きに努力していきましょう！
- ・ 今までの中では今回が一番良かったように思います。わかりやすく説明や解説など。今日の講演はとてもよかったと感じています。
- ・ 内容もさることながらリズムがあつて聞きやすかった。
- ・ もう一度ききたいほど。
- ・ 適切な議題で、大変良く分かった。人柄も好感が持てた。学校を良くしたい。そのための学校事務職員である。
- ・ わかりやすかった。教育方針を事務職員に配布していない学校が多いのではないかな？
- ・ 副教育長が言われる「要」の意識が、現場の学校長の中にあるのだろうか？現場の意識は変わっているのか疑問である。

《県外事務職員》：

- ・ 佐事研執行部の方々が熱心に説明をされ、導かれた中からの話を拝察しました。
- ・ もうすこし、話を聞きたいと思った。

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

《その他》：

- ・ 「構成員がひとつの目標に向かって各自の役割を果たす」だけ構成員は迷っているのではないだろうか。強いリーダーシップで引っ張ってくれる人も必要ではないだろうか。（「だろうか」ばかりでスママセン）
- ・ 「変化」という風を味方につけること！等、プラスになることを学びました。
- ・ 佐賀の方ではないのですね・・・。

#### アンケート設問4．学校事務改善検討委員会報告

《20代》：なし

《30代》：

- ・ ？
- ・ 事務職員の職責を関係部署に知ってもらうために、長年努力されてきたことを知ることが出来た。

《40代》：

- ・ 佐事研の役員の方々の長年の尽力で学校事務改善検討委員会が設立されたということに頭が下がる思いです。私達事務職員一人一人が「変化」を受け入れ一つになって追い風によってがんばっていければと思います。
- ・ 報告があまりなかった。
- ・ 今までの経過がわかって、今後の方向性も見えてよかった。

《50代》：

- ・ 委員会の内容的な話をもう少し聞きたかった。
- ・ リーダーの重要性がわかった。
- ・ 検討委員会の進み具合が予想に反したのであろうが、県事研として何を入れこみたいのか判りにくかった。資料の提示もなく、残念。が、今後に期待する。
- ・ 口止めの部分があったみたいと感じた。
- ・ 小川会長、身体に留意されて、基盤整備よろしくお願い致します。

《県外事務職員》：

- ・ 少し言葉をにごされた感を持ったが・・・。ご事情があったのかと思うが次の段階の話を書きたかった。

《その他》：

- ・ 「リーダーの役割が大きい」そのリーダーをどう集め知恵を結集させて問題解決に当れば良いか、委員会・委員長の一層の奮闘をお願いします。（←汚くてスママセン）
- ・ 未来（後輩）へたくすというお言葉が印象的でした。

## アンケート設問5. 研究部報告

《20代》：なし

《30代》：

- ・ 結果を楽しみにしています。
- ・ 重複している部分もあったが、現在の進捗状況を聞いてよかった。
- ・ 発表までがんばって下さい。

《40代》：

・ 共同実施研究班の状況把握のズレ（共同実施が根付かなかったのは、「一人仕事」に慣れた人の反発が原因でなく、共同実施の有用性が提示されなかったから。「意識改革」といいながら、現在の共同実施案は **evolution** かもしれないが **revolution** ではない。）、そしてそれを元にした分析、研究の方向にガッカリした。共同実施について、その目標は、「事務の効率化による教員の負担軽減」であることははっきりしている。評価はそれによって上がることは、各種アンケートの結果からもわかる。教員の負担軽減は、教育の改善における最も重要な要素であることも周知の事実。もっと単純に考えるべき。「共同実施でいかに事務の効率ができるか（＝他に回す時間ができるか）」ということ。例えば校納金会計などを担当する、学校経営参画するなどのことは現状でも可能だし、やっているところもあると思う。しかしそれはあくまで属人的なものであり、それをいかに一般的に高いレベルで平準化していくか、が課題。もちろん個人スキルを上げることは必要だが←この考え事態が属人的。「他のことに取り組む時間・余裕」を全体的にいかに作るか、が求められる。共同実施体が例えば年度毎に課題を考え、それを研究するなどナンセンス。それこそ「研究会」がやるべき。「組織」は、基本的に組織的業務を行うものでなければならない。立ち上げ、軌道に乗せる、のような時期には多大な労力を併うにしても、そのあとはあくまで運営するものであり、少なくとも以前より、ある課題に対するのに「楽」にならなければならない。「楽」にするにはどうするか。「組織」の利点を活かす。組織の利点とは、分業と専門化する情報の集中化。「それだけをやればよい」状態は深度とスピードを増すことができる。これができる共同実施を考えなければならない。佐事研案は「組織」の「拘束力」を強調していてビックリした。ある意味「負」の部分を強調して、誰がやる気が出るだろうか。（おまけになんとか連絡協議会とか上部組織をしこたま作って、その会議に取られる時間（＝負担）が増えるだけ）では、これがどうやって可能になるか。事務センター式にすればよい。個人的に事務職員は学校に居てナンボ、と思っているので事務センター自体には賛同しかねるが、そのシステムとしては有効だと思っている。例えば、20校ある地域があるとして、20校で共同実施単位とする。さらにそれを4班とかに分ける。それぞれの班は、ある「業務」を受け持つ。例えば「県費・手当」とか、「電算」とか。はじめのうちは（馴れるまでは）「扶養手当」とか「通勤手当」とかでもよい。（県費がなくなったら市町村費とか、学級会計とかを「業務」のテーマにしてもよい）ひとつの学校（の事務職員）は、その「業務」については、情報収集のみを行い、その情報を担当班に上げる。担当班はその情報の検討・書類の作成等を行う。そもそも中学校区単位での共同実施単位というもの自体に反対なのだが、その「班」は（←これは文科省の講演で、こういう風にしてもいいよ、と言っていたはず）、20校のうち、経験等が適当なものを集める。経験が浅い者をそ

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

こに入れて研修する機会を与えるようにしてもよい。その20校内に新採とかがいれば、1つの班は「新採研班」にしてもよい。その辺をフレキシブルかつ効率的にもできるのがよいところ。「(中学校区) 近辺」で集まる必要は感じない。かえって属所属によるへい害のほうが多い。「班」を「業務」でくくることは、その「長」の責任を権限ということでも都合が良い。あと・・・班は必要に応じて集まる、又は長が現場に居て班員に指示するようにしてもよいとか。人事の件がフリーになるとかいろいろ「発展的」な発想ができるが紙面が尽きましたので、これまで。この「まる投げ方式」は不可能だと云われるかもしれないが、すでに旅費でやってるし。

- ・ 共同実施についてこれまでの10年の経過が理解できた。実際にH20年からスタートするにあたって、地教委への理解を得るのが少したいへんだと思う。

《50年代》：

- ・ 森先生の理論的、情熱的説明が非常に分かりやすく、良かった。
- ・ 不安が先にいく現実があるが、やはり「変化」を受けとめていくべきと感じた。

《県外事務職員》：

- ・ 全事研福岡大会を楽しみにしています。

《その他》：

- ・ 資料(ページ)のどこを説明しているのか見失う事があり出来れば順次案内してほしい。時々文末が「・・・する」場合があり「・・・します」が良いと思う。
- ・ 関係の方々御苦勞様です。

#### アンケート設問6. 共同実施パネルディスカッション

《20代》：

- ・ 他県先進地区の話が聞けてよかった。
- ・ 他県の状況を知る良い機会となった。
- ・ 新採ということもありむずかしい点等たくさんあったが、共同実施に対する現状など勉強できておもしろい話を聞くことができた。

《30代》：

- ・ 単調だった。大分県佐伯の方もパネラーにしてほしかった。
- ・ 他県の共同実施の現状を知ることが出来大変良かった。
- ・ 「大変良かった」この一言に尽きます。欲を言えば県教委の方にも入って頂きたかったです。ただ、そうになると発言内容も変わってしまうのでしょうか？

《40代》：

- ・ 先進県の話が、聞けて良かった。
- ・ 枝葉の部分については多く語られるが、本質的な議論がなされていない。共同実施によって学校教育にどのように貢献できるのか、どう評価されるのか、みえてこない。共同実施をしない事がもはや許されない状況であるのなら、人員削減の呼び水にならない事を祈るのみである。(秋田や茨木のようにならないように・・・)

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

- ・ 財務の課長印は校長だが、共同実施において認定権者を検討できるのか？難題だと思います。校長先生への共同実施の辞令書を検討してほしいと思う。
- ・ 宮崎や大分の共同実施その他いろいろな話が聞けてよかった。
- ・ 「市町村に主体性がある」という言葉が印象的でした。
- ・ 内容は面白かったが、今現在の我々のレベルに対応したものであったかは疑問。
- ・ 佐賀でも来年4月に全県下実施ということで、不安な気持ちも多々あったが、先進他地域の状況などをきいて、共同実施の指標を得たような気がした。
- ・ 「義務制の特性」（「全て把握した上で」というところ。それこそが「一人職種が集まる」ことを否定すること。）を残す必要がどこにあるのかわからない。組織論から逆行している。いろんな班（課）をまわればケンサンを積むことはできるし。

《50代》：

- ・ 宮崎、大分県の様子聞いて良かった。
- ・ 大変わかりやすかったけど、あとに何をすべきか考えるべきですね。また導入部分なのにまとめに入った気分です。
- ・ みなさん具体的な表現ですばらしかった。
- ・ 他県の方、市教委の課長を入れ、工夫されたのであろうが判りにくかった。
- ・ 最初は良かったが、まのびした感じだった。
- ・ 具体的な部分がよくわかりませんでした。
- ・ 共同実施の学校教育、学校経営的視点における、キラッと光ある発言、説明が乏しかった。（田中さんの最後のまとめを除いて）事務職員の為だけの共同実施との印象が強かった。（反発している人、分かっていない人、どっちとも言えない人をターゲットにしたため、と理解はしますが・・・。）

《県外》：

- ・ 熱い意見でとても楽しく研修することができました。組織となっても最後は学校が中心！

《その他》：

- ・ 共同実施のイメージがかなり浮んで来た。やはり組織を固めてから、やってみないと分からないのですね。
- ・ 教員としての視点も持たれている教育課長さんの意見や、各県の事務職員の方の意見が聞けておもしろかったし勉強になりました。共同実施の現状とこれからの方向性の話を聞けたし、学校業務のあり方など再認識できました。
- ・ 共同実施だけが目的となつてはならないという結論が印象的でした。

アンケート設問7. その他

《20代》：

- ・ 一日を通して「共同実施」にしばっての研究大会だったことに意味を感じた。今後の在り方について大いに考えさせられた。
- ・ 最新版の「給与事務の手引き」を佐事研のホームページにアップしていただけたら・・・。

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

《30代》：

- ・ 席がせまいので最後部席もすわれるようにしてほしいです。
- ・ お疲れさまでした。

《40代》：

- ・ いろいろと失礼なことを書いてすみません。でも人は「皆がんばれるわけではない」「やることに意味があることが分からないと苦役」なんです。抽象的、外辺的に言葉をならべられても辛い。
- ・ `自然発火` できる学校事務職員でありたいと思います。
- ・ クーラーが寒かった。
- ・ スピーカーからの音声が聞きづらいときがあった。
- ・ いつも思いますが`事務支援室`という言葉ではない、何かもっとよい言葉はないでしょうか。たとえば、「集中事務室」とか、「統括事務室」とか。「事務支援室」では、なんとなく、事務を支援しないとやっていけないようなイメージがあります。言葉のイメージは大切です。佐賀県の「事務長」という役職名（?!）がそうですよね。
- ・ 私語が気になりました。
- ・ 認定権＝共同実施ではない。そのあとにくるものは何なのか。マネージメント支援＝教育の支援。重い課題ですね！！もっと自分を高めなければついていけない。
- ・ パネラーの発言を正確に解せず、質問したうえ、「寝ながら聞いていたので・・・」などとマイクを通して言うのは、パネラーに失礼。同じ会の会員として恥しい。マナーは心得てもらいたい。
- ・ 全県下共同実施は大変結構なことだと思いますが、もう少し、デメリットの部分（人事の問題・事務職員のライン化・合理化・差別化・分断化など）についても論議する必要があるのではないのでしょうか？

《県外事務職員》：

- ・ 昼食できる場所を探すのに苦労しました。館内の食事可能場所を示してくださると助かります。（県外の者用）

《その他》：

- ・ 連携、物理的な距離の克服方法、一歩先に行く？ためにICTの活用はどうするつもりなのか、相変わらずのFAXや出掛けて行って時間をかけて（かかり過ぎ）の共同。こういう事柄ひとつを取り上げても、その費用は中心人物は、佐事研の実質的旗振りの人は・・・。（自分の得意分野から考えてみました。小さくて雑ですみません）
- ・ 学校の中で事務職員は要である・・・という意識を再確認し、そうならなければならないと思いました。共同実施で事務職員の力を発揮し、学校運営に大きく貢献していかなければならないと思いました。



## ◆ 「注連縄」（しめなわ）の由来は？

毎年年末に、お正月を迎える準備もかねて、PTAの行事である「注連縄」作りに参加しています。そこで、「注連縄」の豆知識について、取り上げてみることにしました。

### \*注連縄（しめなわ）とは何だろう。

「注連縄」（しめなわ）は、神社や神棚などに見られるように、神聖な区域に懸け渡し、内と外を隔てて、不浄なものの進入を禁ずる印として張る縄のことです。つまり、ここが特別な場所であることを、人々に明示するためであります。ですから、紙垂を垂らすというの、注連縄を目立たせて、縄の所在をはっきりさせる目印なのです。

社殿の四周、又は民家の門戸等に懸けわたして、内外を区画する標（しるし）の縄＝**標本**と書かれたり、新藁の端を少しづつ残して緋い、その数を七・五・三とするため**七五三縄**と書かれたり、また、**ノ縄**、**年縄**などとも書かれます。

その起源は、古事記に、神代の時代、『天照大神が須佐ノ男命の乱暴を恐れ天石屋戸に隠れた時、この天石屋戸のまえで天宇受命らの神々が賑やかな宴を催した。これを怪しんだ天照大神が覗いたところ、傍らに隠れていた天手力男神がその手を取り、天石屋戸から引き出した。そして布刀玉命が「**尻久米縄**」（しめくりなわ）をその後ろへ張り渡し「ここより内に戻れませぬぞ」と告げた』と書かれており、この『**尻久米縄（しめくりなわ）**』に由来すると云われています。

注連縄には、清浄・神聖な場所を区画するため引き渡される。これが、神社などに掲げられる意義です。従って神社のみならず、巨大な岩や樹木、清浄な井戸、瀧、寺院にも掲げるところもあるのです。

一般には、新年に門松とともに戸口に注連縄飾りを置いたり、神棚に張ったりするのは、上述の意義により、穢れをさり無病息災・家内安全を願ってのことなのでしょう。

注連縄の形は様々ですが基本的には、普通の縄のように細く長いもの、中央が太く両端が細くなった大根注連（だいこんじめ）、一方が太く次第に細くなっていく牛蒡注連（ごぼうじめ）、輪にした物等があります。これらを様々に組み合わせいろいろな形になっています。いずれも新しい藁（わら）（藁は刈り取った稲を使います。）で、左緋（ひだりない）にして作ります。一般に、注連縄には所々に藁の切り下げ（ノの子）が垂れており、更に真っ白い紙（紙垂＝しで）を垂らしてあります。その上に裏白や山草、ゆずり葉、橙を添えたり、手の込んだものでは、海老や鶴亀を編んだものなどが添えたりしているものもあります。

さあ、皆さんも手作りの注連縄で良いお正月を迎えてはいかがですか？

◎ Excelのショートカットキー ◎

みなさんが仕事で毎日使用されているエクセルには操作を快適・便利にするたくさんのショートカットキーがあります。たくさんあるショートカットキーの中から、使用頻度の高そうなものを集めてみました。なかなか覚えることは難しいかもしれませんが、覚えてしまえば便利なものがあると思います。

※ウィンドウズのバージョン、エクセルのバージョンのキーボードに適用されます。

1部のノートパソコンでは割り当てが異なる場合もあります。

<p><b>コピー・貼り付け</b></p> <p>Ctrl + C セルをコピーする</p> <p>Ctrl + X セルを切り取る</p> <p>Ctrl + V コピー・切り取ったセルを貼り付ける</p>	<p><b>コピー・入力</b></p> <p>Ctrl + D 下にセルをコピー</p> <p>Ctrl + R 右にセルをコピー</p> <p>Ctrl + ; 今日の日付の入力</p> <p>Ctrl + : 現在時刻の入力</p>
<p><b>取消し・再実行</b></p> <p>Ctrl + Z 操作を取り消す</p> <p>Ctrl + Y 取消しをキャンセル</p>	<p><b>セルの移動</b></p> <p>Tab 1つ右のセルへ移動</p> <p>Enter 1つ下のセルへ移動</p> <p>Shift + Tab 1つ左のセルへ移動</p> <p>Shift + Enter 1つ上のセルへ移動</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>Ctrl + P 「印刷」画面の表示</p>	
<p><b>開く・保存</b></p> <p>Ctrl + N 新規ブックを開く</p> <p>Shift + F11 新規シートの挿入</p> <p>Ctrl + S 上書き保存</p> <p>Ctrl + W ファイルを閉じる</p>	<p><b>その他</b></p> <p>Alt + Enter セル内で改行</p> <p>Ctrl + A シート全体を選択</p>

◎◎◎ いよいよ平成20年です。共同実施全県実施の年になりますね。それでは会員の皆様よいお年をお迎えください。

